

まえがき

令和6年中の本道の交通事故発生状況は、

発生件数 8,743 件 (前年比 -339 件)
死者数 104 人 (前年比 -27 人)
負傷者数 10,297 人 (前年比 -304 人) でした。

死者は前年より 27 人減少し 104 人となり、全国ワースト 8 位に(ワースト 1 位の東京とは 42 人差)。

死亡事故の特徴

- 事故類型別では、人対車両事故での死者数が 36 人と最も多い(前年比-9)。
- 地形別・道路形状別では、非市街地の単路その他で 46 人(前年比-9)と多く、次いで市街地の交差点での事故で死者が多く 36 人(前年比-1)。
- 発生時間別では、8 時～10 時が 14 人(前年比+5)で最も多い。
- 第一当事者の年齢層別では、65 歳以上の高齢者が 38 人(前年比+1)と最も多く、全体の約 4 割を占めている。
- 第一当事者(第一当事者に自転車を含む)の違反別では、前方不注意が 38 人(前年比-22)と最も多く、次いでハンドブレーキ操作不適が続いている。
- 死者全体の約 6 割を占める 60 人(前年比+2)が 65 歳以上の高齢者で、そのうち歩行中、自動車乗車中(二輪を除く) がそれぞれ 26 人となっている。
- 自動車乗車中(二輪を除く)の死者 52 人中、18 人(34.6%)がシートベルト非着用で、そのうち 9 人(50.0%)は、シートベルトを着用していれば助かった可能性が高いと思われる。

交通事故の発生実態を的確に把握し、より効果的な交通事故防止対策を推進するうえで、この小冊子が役立つことを願っています。

も く じ

都道府県別交通事故死者数	1	12 地形別・道路形状別事故発生状況	16
1 交通事故発生状況の年別推移	2	13 第一当事者の車種別事故発生状況	17
2 月別・年別交通事故死者数	3	14 第一当事者の職業別事故発生状況	18
3 死亡事故の特徴(全国対比)	4	15 第一当事者の違反別事故発生状況	19
4 交通事故死者にかかわる都道府県別ワースト順位	5	16 第一当事者の年齢層別事故発生状況	20
5 地区交通安全協会別(警察署別)人身事故発生状況	8	17 25歳未満のドライバーの事故発生状況	21
6 市町村別人身事故発生状況	9	18 25～64歳のドライバーの事故発生状況	22
7 状態別死者・傷者の状況	12	19 65歳以上のドライバーの事故発生状況	23
8 類型別事故発生状況	13	20 歩行者・自転車利用者の交通事故死傷者の状況	24
9 月別事故発生状況	14	21 二輪車(原付を含む)運転中の事故発生状況	27
10 時間別事故発生状況	14	22 交通死亡事故とシートベルト着用状況	28
11 道路別事故発生状況	15	令和7年における交通安全運動の推進方針(概要)	

※本文中の各データに表示した(構成率)については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。